

2021年8月19日

夏秋いちご「サマールージュ」の出荷・販売を開始しました

株式会社奥村組

株式会社奥村組（本社：大阪市阿倍野区、代表取締役社長：奥村太加典）と小諸倉庫株式会社（本社：長野県小諸市、代表取締役社長：篠崎友宏）が設立した事業会社「株式会社軽井沢いちご工房」は、本年7月より夏秋いちご（夏秋期に収穫・出荷するいちごの総称）「サマールージュ」（商標登録出願中）の出荷・販売を開始しました。

「サマールージュ」の品種は「信大 BS8-9^{*}」で、甘みと酸味のバランスに優れています。
（※：信州大学農学部が開発）

長野市内をはじめとする各地の洋菓子・和菓子店舗やホテル・レストランなどに業務用として納入を始めた他、一般のお客様のご家庭用にも下記の EC サイトで販売しています。

食べチョク：<https://www.tabechoku.com/producers/24382>

Yahoo! ショッピング：<https://store.shopping.yahoo.co.jp/karuizawa-ichigo/>



写真1 サマールージュ（信大 BS8-9）

当社では、『2030年に向けたビジョン』および本ビジョンの実現に向けて「企業価値の向上」、「事業領域の拡大」、「人的資源の活用」の3つを事業戦略の基本方針とする『中期経営計画（2019～2021年度）』を策定、推進しており、「事業領域の拡大」においては、不動産事業の強化、海外事業基盤の構築のほか、新規事業への参入を進めることとしています。

本事業を通じて、食料自給率の低下を背景とした国産農産品へのニーズに応えていきたいと考えています。また、「地産地消」に取り組むとともに、地域における雇用の創出や「サマールージュ」を地域ブランドとして確立させることによる「地方創生」に貢献し、さらには耕作放棄地の解消など農業分野の課題解決にも努め、持続可能な社会の実現を目指します。



写真2：栽培中のサマールージュ



写真3：軽井沢町の「Cafe Patra」様のサマールージュを使用したケーキ

【本事業の概要】

- | | |
|--------|--|
| ○事業主体 | 株式会社軽井沢いちご工房 |
| ○出資会社 | 奥村組（51%）小諸倉庫（49%） |
| ○代表者 | 代表取締役社長 福知 克美（奥村組） |
| ○農場所在地 | 長野県北佐久郡軽井沢町発地前田 618 |
| ○圃場規模 | 7.2m×46mの農業用ビニールハウス 2棟
高設ベンチ 6列／1棟、灌水系統 2系統 |
| ○栽培品種 | 四季成り品種いちご（信大 BS8-9） |

【お問い合わせ先】

株式会社奥村組
投資開発事業本部 新事業開発部 新事業開発課
黒瀬 英俊（くろせ ひでとし）
TEL 03-6628-8800 FAX03-5427-8330
E-mail : hidetoshi.kurose@okumuragumi.jp